

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかり奈井江		公表日		2026年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・定員15名が利用になると、室内は狭いと感じる。 ・利用人数が多いのでスペースは狭いと思う。 ・狭く感じるが物の配置等で少しでも広く使えるようにしている。	・その日の利用人数によっては手狭に感じる。 ・活動の内容によっては2階のスペースを活用し対応しています。 ・引き続き、安心・安全な環境作りを心掛けていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・子どもたちと職員の関係性等も意識し配置している。 ・もう一人職員がいると違うと思う。 ・なるべく1人で対応することがない様に配慮している。	・子どもたちの状況によっては、足りないと感じる事もある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	・バリアフリー化はされていないが、子どもたちの状況に合わせた環境作りを意識している。 ・バリアフリーではないが、子どもたちの活動の動線は工夫している。	・引き続き、視覚からわかりやすく子ども達が過ごしやすいように配慮してまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・掃除は毎日行っている。 ・活動部屋の動線を意識している。 ・活動内容によっては分かれて活動を行なっている。	・引き続き、子ども達が安心して遊ぶ事が出来るように配慮してまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・必要に応じて2階の面談室を使い、クールダウンスペースを確保し、安心して過ごせる様に配慮している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・会議等で話し合い、振り返りを行っている。 ・日頃からの情報の共有を意識している。	・日々の会話の中でも気づいた事は話をし業務改善に努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎年アンケートを行っている。 ・連絡帳や送迎時等でのやり取りを通して意向等の把握に努めている。	・年1回のアンケートを配布し保護者からご意見を頂いております。アンケートでのご意見を参考によりよい支援に繋げてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・会議等で話し合いを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	・第三者による外部評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部、内部研修どちらも参加する機会がある。 ・外部研修は積極的に参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・プログラムは作成・公表されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・保護者との面談の内容をもとに分析し、作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		毎月、支援会議を開催し会議の中で、子どもの様子や課題について情報の共有を行い検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・計画は職員全体で共有し、いつでも確認が出来るようになっている。 ・計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・インフォーマルなアセスメントは日々の支援を通して状況の把握が出来ているが、フォーマルアセスメントの活用については、検討が必要と感じる。	・学校や医療機関で実施された発達検査結果を活用するとともに、日々の行動観察と合わせて定期的や評価と個別支援計画への反映を強化してまいります。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・支援会議等で個々に必要な支援について話し合いを行い、具体的な支援内容の設定を行っている。	・お子様の特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な内容を設定してまいります。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・会議等で話し合いを行なっている。	・活動にねらいや利用への関わり方などを確認しながら様々な視点から考えるように努めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・出来るだけ同じような内容にならない様に話し合いをし決めている。	お子様の発達や特性を踏まえ、色々な体験が出来るようプログラムの立案に努めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・どちらの観点を踏まえた計画、作成を意識している。 ・個々に合わせた活動を行っている。	・個別でのニーズと集団でのニーズを踏まえた個別支援計画の作成と支援に努めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・活動開始前に内容・役割等の確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・気づいた点等、その都度話し合いを行っている。 ・状況のよっては出来ない時もある。	・短い時間でも重要事項を共有する打ち合わせ等を行い、当日、または翌日までには必ず情報共有が行われる体制を整備していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日記録を残し、振り返りや支援の向上に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・モニタリングの内容が個別支援計画に反映されているか見直しを行い、支援会議等でも検討している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・出来るだけ個々に合わせた支援内容を設定し支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・自己選択が出来るように支援を行い、自己決定が難しい時はサポートしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・管理者、児童発達支援管理等、担当職員が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・関係機関と情報の共有を行い、必要に応じてケース会議等にも参加している。	・関係機関との連携と事業所内での情報の共有が円滑に行えるように努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・電話や送迎時等で確認、情報の共有を行っている。必要に応じて面談等もしている。	こまめに連絡を取りながら、よりよい関係性作りに努め連携を図っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		こども園への訪問や電話等でお子様の様子や状況確認を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・関係機関と情報の共有を行い、必要に応じてケース会議等にも参加している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・必要に応じて情報の共有を行い、助言や情報を得ながら支援に反映させている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		・地域イベントに参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・管理者、児童発達支援管理等が出席している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・連絡帳や送迎時、必要に応じて面談も行いながら、お子さんの様子をお伝えしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・研修は行っていないが、面談時や連絡帳などでお子さんへの関わり方や声掛け等お伝えしている。	・今後はペアレントトレーニングに関する研修を年間計画に位置づけ、職員間での関わり方の視点を共有していく。また、面談や連絡帳を通して具体的な助言を行い、家庭と事業所が一貫した支援を行えるよう体制を整えていきます。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・面談時に保護者、子どもの意向の確認を行い個別支援計画を反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・個別支援計画について説明を行い、保護者から確認同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・送迎時や必要に応じて面談を行い、保護者の悩みや困り事をお聞きし助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5		・保護者交流会の場を設け、保護者同士やきょうだい同士での交流の場を設けている。	・なかなか参加が難しい保護者様にも参加して頂ける様に、保護者様からも意見を頂きながら検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情対応の体制を整備している。 ・苦情があった場合は、電話や面談等を行い迅速に対応するように心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・毎月1回通信の発行を行っている。 ・HPやInstagram等でも活動の様子を公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・保護者から同意を得た上で個人情報の取り扱いについては十分配慮している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・関係機関とも情報の共有をしながら、分かりやすい言葉や必要に応じて写真、イラスト等も使い伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・実施出来ていない。	・事業所の夏祭りなど近隣の方と交流できる機会を検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・マニュアルは策定している。 ・定期的に訓練を行い、利用予定表や通信でお知らせしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・保護者から事前に聞き取りをしている。 ・健康記録等も記入して頂いており、変更があればその都度確認している。	・緊急時適切に対応できるように、定期的に保護者様と利用児の既往歴や服薬について確認をし情報の共有を行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・医師の指示や保護者からの情報に基づき対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・外部、内部での研修を行い訓練もっている。	・定期的な訓練や研修に参加し子どもたちの安全を確保するように努めています。また、定期的に安全計画の見直しも行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・訓練等の内容については、利用予定表や通信等で周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・職員間で共有し再発防止に向けた話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・内部、外部研修に積極的に参加している。 ・対応に困った時は職員間で話し合いをし、統一した対応が出来るように努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・対象児がいらないため行ってない。		